



湘南桜友会報

第15号 平成24年6月15日発行

発行責任者 高澤 寛
編集責任者 佐藤 清崇
事務局 藤沢市鶴沼松が岡 4-16-26
野口 記一方

新会長就任ご挨拶

湘南桜友会会長 高澤 寛 (昭和35年 政経)

平成16年湘南桜友会設立以来、何かと皆様にお世話になって参りましたが、今度竹内会長の後任の会長として推挙されました高澤寛^{たかさわひろき}でございます。

竹内前会長とは全く異なり浅学非才、甚だ頼りない限りですが、皆様方の支えをいただき大任を果して参る所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて学習院との関りについて述べますが、私は昭和28年高等科に入学いたしました。その頃は入学者数もそれ程多くなかったように記憶いたしております。スポーツではラグビー部に所属し、練習に明け暮れる日々を過しておりました。31年学習院大学政経学部経済学科に進学いたしました。31年が勉学にいそしむタイプではなく、もっぱらフラフラと街をさ迷う体たらくでしたが、2年の時一念発起、数人の友人と水上スキークラブを立上げたのです。当時本学にはヨット部はありましたが、水上スキーをやる者はいなく、新しもの好きの我々にとって格好の目標となったのです。その後50余年を経て、現在の水上スキー部は、毎年桂宮杯選手権大会をはじめ各競技会で好成績を収め活躍中であり、創設に関りました一人として鼻高々というところでしょうか。

さて桜友会本部に於ける経歴につきましては前回副会長就任の折述べさせていただきましたので今回割愛させていただきます。いつれにいたしましても平成6年より11年間本部常務理事として学校法人評議員として務めさせていただきました。

改めまして湘南桜友会の展望につきまして抱負を述べさせていただきます。

- (1) 学校法人学習院、桜友会本部への物心両面の貢献
- (2) 会員相互の和、親睦、扶助
- (3) 地域に於ける交流、社会奉仕、貢献

同窓会第9回湘南桜友会



等々が従来よりの目的でございましたが、今回本部より地域拡大の要請が参っております。非常に広範囲に渡るため一気に拡大するのは不可能かと思えます。まずは近くの市町村より始めるのが得策と考えております。

また、地域に於ける交流、貢献という点も十分検討しなければなりません。我々に一体何が出来るのか、そしてそれが地域に、或いはそこに住む方々にどのような効果をもたらすのか、生活に反映されるのか等、考慮して参る所存であります。

現在湘南桜友会は会員登録者209名となっておりますが、各事業に出席、参加される方はやや減少気味でありますし、会費未納の方もおられます。この様な状況を打破すべく、亦、会そのものを充実させるべく努力を重ねていかなければなりません。湘南桜友会に参加すれば何かワクワク、ドキドキ楽しいことがあるかもと皆様に期待を抱かせるような会を目指します。

会長の任期は一期2年であります。小生何期出来るかなどという目標は持たず、体力の続く限り責務を全うすべく前向きに一步一步全力で参りますので、皆様方のご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

～会長を辞するにあたって～

湘南桜友会名誉会長 竹内 猛 (昭和33年 政経)

○御礼の辞

湘南桜友会も満8歳となりました。会員諸姉兄をはじめ桜友会本部・学校・各地友好桜友会



のご指導ご協力のお陰で、本会の基礎を固めることが出来ました。誠にご同慶に堪えません。皆様方のご理解とご協力に心から感謝する次第です。

思い起せば、平成15年5月中旬に本会設立準備委員会が発足。翌16年6月6日の総会で呱呱の声を上げました。その日は当時の亀井桜友会長・田島院長などのご来賓を含め100名の方々にご参加戴きました。今日迄、種々な事がありました。ここまで来られたのは今は亡き設立準備委員の田中茂夫さん (S32 政経・H15 歿)、間宮茂元幹事長 (S54 経・H17 歿)、標文雄元副会長 (S35 政経・H21 歿) など、中心になって活躍された幹部の方々のお力でもあります。特に間宮さんの「報連相」を忘れぬ緻密な動き方、標さんの「緩衝剤」的存在とその言葉、非常に助けとなりました。感謝と併せてご冥福をお祈り申し上げます。

皆さん、これからは高澤新会長のもと一致団結。益々素晴らしく楽しい湘南桜友会になることを期待して止みません。

○新しい酒は新しい革袋に盛れ

「輪を拡げ、絆を強くしよう！」が私の第一声でしたが、本会の守備範囲はご承知の様に下図の通り



拡がりました。この組織化の仕事は、新会長にして

戴くこととなります。会員の皆様どうぞご協力をお願い致します。新しい革袋には新しい酒をとというのはこの事でもあります。何卒宜しく頼みます。

○明日からは宿題に挑戦

先ず「清水幾太郎全集19巻」とスーパー歌舞伎ヤマトタケルの「梅原猛全集16巻」を読み終えること。次に津波対策「湘南箱舟」やFMそして自転車安全運協等々……切りがないのです。会員の皆様、この8年本当に有難うございました。

～新事務局長の抱負～

野口 記一 (昭和41年 経済)

この度幹事長兼事務局長に任じられました昭和41年経済学部卒業の野口記一です。



のぐちのりかず

当会創設以来、丸8年竹内会長と浦田幹事長の名コンビで湘南桜友会の基盤を築かれました。平成25年度は当会も10周年を迎えます。高澤新会長の方針に沿い、役員皆さんのご協力を得て、また新しい湘南桜友会を作り上げていきたいと思っております。

私は昭和37年政経学部に入學し、スタンフォード大学から戻られた渡部経彦教授に師事いたしました。教授から計量経済学の薫陶を受け、経済学研究部に入部いたしました。二年生進学時から奨学金をいただきご恩返しに学習院100周年募金では三井銀行にいたこともあり、三井系企業の募金活動に奔走いたしました。またこの度、湘南桜友会の活動のお世話役をお引き受けしましたのもこの一環と思っております。

当会には経済学研究部で一緒に勉強した谷口さんのご紹介で入会いたしました。いろいろの行事を通して会員の皆さんとの和気あいあいとした集いに参加するのが楽しみです。

今後は、高澤会長の抱負にありますように、ワクワク・ドキドキの楽しい会を企画し努力してまいりますので、会員の皆様には一人でも多くのご参加をお願い申し上げます。

～事務局長退任ご挨拶～

浦田 憲一（昭和37年 政経）

私は去る3月5日急性心筋梗塞のため緊急入院をいたし、運良く回復いたしました。しばらく静養の必要があり退任いたすことになりました。



振り返れば平成17年8月、本会の発足から運営まで多大な熱意と行動力で貢献された間宮事務局長の急逝の後を受けて事務局をお引き受けいたしました。竹内会長の厳しくも、愛情のあるご鞭撻のもと何とか7年間務め

上げることが出来ましたのは皆様のご協力のおかげにはかならず、ここに心よりお礼申しあげます。また在任中、桜友会本部の評議員として組織委員会及び講座委員会の委員として同窓会の運営の一端に参加して有意義な経験したこと。そして多くの人たちと知り合えたことは当会のモットーである絆を強め、同窓生の出会いの場を作る事業を実行するために大きなプラスになりました。

これからは幹事の一員としてこれまでの経験を生かし、皆様のお役に立てればと考えております。私の後任といたしまして野口記一君が今後この業務にあたりますので、宜しくご協力をお願いいたします。

～湘南桜友会第9回総会・懇親会～

6月2日（土）会員、来賓者の方々を含め58名のご出席のもと、平成23年度事業報告、決算報告、会則の一部改正、役員改選及び24年度事業計画が満場一致で承認されました。

続く講演会では、会員の伊藤一美氏による「平清盛を超えた妻・時子」のお話を楽しみました。



懇親会では学校側から波多野学習院院長、堀口常務理事、桜友会から、葛城副会長、三野副会長、階戸事務次長。また、お隣の鎌倉桜友会より内山幹事長、姉妹桜友会の長野桜友会から杉田会長のご出席のなか、和やかなうちに親睦を深めいつまでも話が尽きないうちにお開きになりました。

*今年も10万円を「湘南桜友会一同」として「学習院サポーターズクラブ」に寄付いたしました。

新役員決まる～新任会長に高澤寛氏、名誉会長に竹内猛氏

当会の創立以来9年間に亘り会長を務められた竹内猛氏（昭和33年大学政経学部）が退任され、名誉会長に就任され、副会長の高澤寛氏（昭和35年大学政経学部）が新しく会長に就任いたしました。

また内海孝夫氏（昭和36年大学政経学部）が副会長に、幹事長兼事務局長の浦田憲一氏（昭和37年大学政経学部）が病氣静養のため退任、後任に事務局次長の野口記一氏（昭和41年大学政経学部）が選任されました。今期の新幹事と顧問は次の方々にお引受け頂きました。

<幹事> 山口彰吾（昭和40年 大学 政経学部）

中野長司（昭和50年 大学 法学部）

<顧問> 御厨久雄（昭和27年 大学 文政学部）

小菅孝二（昭和29年 大学 政経学部）

ご退任の役員の方、本当に有難うございました。これからもご指導の程をお願いします。そして新任の皆様のご活躍を大いに期待しています。（新役員名簿はホームページに掲載しています。）

[23年度後期事業報告]

～クリスマス・年忘れ懇親会～

年末恒例の企画、第8回「クリスマス・年忘れ懇親会」は、12月11日（日）午後6時よりグランドホテル湘南（藤沢市）にて会員、同伴者、お子様45名が参加して洋食・中華コース料理を賞味しながら、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。

また毎年好評のアトラクションは、茅ヶ崎在住の江さし純さんのコカリナ演奏と軽妙なトークで大人も子供も拍手喝采して、行く年を惜しみ、来る年に

期待をかけながら親睦を深めました。



～鎌倉・東慶寺座禅と観梅～

2月22日(水) 学習院昭和寮会(逍遙会)との共催による、東慶寺の観梅、安倍院長の墓参、座禅体験に17名の方が参加され親睦を深めました。今年は寒気が例年になく居座り、梅の花がまだ蕾みのままでしたが、井上和尚の厳しくも、愛情あるご指導で座禅体験をしました。

来年は毎年、名古屋から参加され、昭和35年大学・政経学部卒の俳誌[笹]同人、俳人協会会員の木下恵裕氏(俳号 木下雅游)のご指導で参加者全員が俳句を詠むことになりました。



～24・春「ウォーキングの会」～

4月17日に24・春「ウォーキングの会」の活動を実施いたしました。当日は穏やかで天候にも恵まれ、参加者17名で大磯のオープンガーデンを訪れ、明治の政財界人の別荘地跡を巡り、のんびりと大磯の歴史や自然を楽しみました。

今回は頑張って約7キロ弱を歩きました。

[平成24年事業計画・サークル活動予定]

- * 7月28日(土) 地引網大会(五ろ引網)
- * 9月8日(土) 第16回SUC
- * 10月下旬 秋季・ウォーキングの会
- * 11月中旬 湘南を巡るゴルフ大会
- * 11月中～下旬 日帰りバス旅行
- * 12月1日 会報発行(第16号)
- * 12月15日(土) クリスマス・年忘れ懇親会(グランドホテル湘南)
- * 2月初旬～中旬 鎌倉・東慶寺座禅と観梅(平成25年) (学習院昭和寮会との共催)

湘南桜友会のホームページを新たに開設しました。

<http://gakushuin-shonanou.jimdo.com/>

是非ご覧ください。学習院桜友会のホームページからもリンクしています。

投稿を希望される事項がありましたら事務局野口Eメール: ryunorinogu@gmail.com までご連絡ください。

編集後記

この度は、畏れ多くも寛仁親王殿下ご薨去の報に接しました。殿下には桜援会(応援団OB会)最高顧問をお務めいただき、私の幹部時代の大学祭では殿下の目の前で演舞をご披露させて頂きました。心より哀悼の意を表したいと思います。(佐藤清崇)